

第5学年 国語科 学習構想案

日 時 令和4年10月18日(火) 第5校時
場 所 5年2組教室
指導者 教諭 田中 ちひろ

1 単元構想

単元名	資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう 「固有種が教えてくれること」「グラフや表を用いて書こう」 (光村図書 p137～153)		
単元の目標	(1) 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。 [知識及び技能] (2)イ (2) 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 [思考力, 判断力, 表現力等] B (1)エ (3) 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。 [思考力, 判断力, 表現力等] C (1)ウ (4) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力, 人間性等」		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。	①「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(エ) ②「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。(ウ)	①進んで説明の工夫について、資料と文章の関わりを基に捉え、学習の見通しをもって、自分の考えを書こうとしている。
単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）			
図表などが使われている文章を読むときに、その資料（図表等）の効果を感じながら読み、目的に合ったグラフや表を用いて、自分の考えを文章に書こうとする児童			
単元を通した学習課題（単元の中心的な学習課題）		本単元で働かせる見方・考え方	
日本の未来予言書を書こう。 ～資料の効果でみんなが納得～		資料が伝えようとしている文章に意識的に着目し、資料を用いた文章の効果を考えることを通して、言葉への自覚を高めること。	
指導計画と評価計画（11時間取扱い 本時5/11）			
過程	時間	学習活動	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一	2	○資料を活用した文章を読む学習の見通しと問いをもち、単元を計画する。 ○統計資料の読み方を理解し、自分が興味をもった資料や文章を読むときに生かす。	【態①】（ノート・発言） 【知①】（ノート）
二	3	○文章の構成をおさえて論の進め方を確認し、文章の内容の大体を捉える。 ○要旨をまとめる。 ○ <u>文章と資料を結び付けたり、その効果や意図を考えたりする。（本時）</u>	★【知①】（発言・記述） ○情報と情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。 ★【思②】（発言・記述） ○文章と資料を結び付けて内容を捉えているとともに、その効果や意図を考えている。
三	5	○これからの社会について自分の考えをもち、資料を探して適切なグラフや表を選ぶ。 ○資料から分かる事実とそこから考えたことを書き出し、文章構成を考える。 ○図表やグラフを用いて、考えが伝わるように書き表し方を工夫し、下書きをまとめる。 ○下書きを推敲し、文章を完成させる。	★【思①】（作成した文章の記述） ○引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ★【態①】（観察） ○読み取った説明の工夫をいかして、統計資料を用いた意見文を進んで書こうとしている。
四	1	○これまでに注意してきた観点を意識して予言書を読み合い、文章や資料のよいところを見つける。	★【思②】観察 ○図表の使い方などの観点で、互いの文章のよいところを伝え合っている。

2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所(内容, 指導事項等)				
小学校学習指導要領 5 学年及び 6 学年 [知識及び技能] (2)情報の扱い方に関する事項イ [思考力, 判断力, 表現力等] B「書くこと」(1)エ C「読むこと」(1)ウ				
教材・題材の価値				
本教材は, 統計グラフや図表等などの資料を文章と関連付けて読み, 資料を用いた文章の効果を考えるよう促している。また, それを生かして自分の考えを書くことで, 様々な説明の工夫がされていることに気付き, 自分が書き手となったときに, その効果について考える力を付けることに適している。				
本単元における系統				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 4 年「世界にほこる和紙」 まとまりごとに中心となる語や文を確かめ, 要約する。 「伝統工芸のよさを伝えよう」 理由や事例を挙げて考えを伝える。 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 5 年「見立てる/言葉の意味が分かること」 事例・理由や論の展開に着目して, 要旨をとらえる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 5 年「固有種が教えてくれること」 文章以外の資料を用いた効果を考えながら読む。 「グラフや表を用いて書こう」 目的に合った資料を選び, 資料と文章を対応させて書く。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 5 年「想像力のスイッチを入れよう」 事例と意見の関係をおさえて読み, 自分の考えを明確にして伝え合う。 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> 6 年「『鳥獣戯画』を読む」 筆者の考え方と資料や言葉の使い方の工夫をとらえる。 </div>				
児童の実態 (単元の目標につながる学びの実態)				
■本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況 (R4 標準学力検査)				
調査内容	正答率 (%)			
叙述を基に文章の内容を捉える。	82.6			
叙述を基に, 段落相互の関係を捉える。	65.2			
情報と情報との関係について理解し, 中心となる語や文を見つけて要約している。	87.0			
■本単元の学習に関する意識の状況 (23人中)				
調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない
自分の考えを深めたり, 広げたりすることができていると思う。	5人	17人	1人	0人
課題解決に向けて, 自分で考え, 自分から取り組んでいると思う。	8人	13人	2人	0人
既習の「はじめ, 中, 終わり」の文章構成を考えて読んでいると思う。	10人	11人	2人	0人
要約, 要旨のとらえ方を生かして学習していると思う。	8人	14人	1人	0人
■考察 (資質・能力に関して) 叙述を基に文章の内容を捉えることや, 情報と情報との関係について理解すること, 中心となる語や文を見つけて要約することに関しては概ねできているものの, 叙述を基に段落相互の関係を捉えることについては, 段落の叙述を正確に読み取ることや文章の構成を理解することに差があり, 今後も重ねて指導が必要である。 (学びに関して) 主体的・対話的で深い学びの視点から, 学びの状況を見ると, 全体的に主体的な姿ではあるものの, 積極的に自分の考えを深めたり, 広げたり, 課題解決に向かおうとしたりする児童は多くない。また, 文章構成や, 要旨について意識はしているものの, 的確にとらえられているわけではない。対話や交流の場面をつくることによって, 考えの変容を実感する学習や, 段落ごとに要約する学習などが必要である。				

3 指導に当たっての留意点

視点1: 子供の問いを生み, 子供が主体的に学ぼうとする質の高いめあての設定

- 全文を資料のない状態で示し, 資料の効果について視覚的に感じることができるようにする。
- 初発の読みから出た子供の疑問で学習課題を設定し, 毎時間【みんなの疑問】を解決することで意欲を継続する。
- 単元のゴールを確認し, 意欲の継続を図る。

視点2: 子供の思考をゆさぶり, 深い学び・確かな学びへと導く焦点をしぼった発問や活動

- 資料を選び終わった後「選ばなかった資料には, 効果はないのか」について考える発問をすることで, 筆者の意図を考える。

4 本時の学習

(1) 目標 文章と資料を結び付けて内容を捉えるとともに、その効果や意図を考えることができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動	教師の主な発問と予想（期待）される児童の発言 (教師の発問：○ 児童の発言：◇)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図, 内容, 方法等)
導入	5分	1 本時の課題をつかむ。 【みんなの疑問】 ・今泉さんは、なぜたくさんのグラフを使って説明したのか。 ・もしも、資料がなかったら？	○はじめの感想で「なぜたくさんのグラフを使っているのか」という疑問がありましたね。 ○本文から資料が消えてしまいました！3つだけ資料を戻せるなら、どの資料を戻しますか。 ◇うわ！資料が消えた！字ばかりだ！ ◇どの資料を復活させようかな。	【子供が問いをもち質の高いめあてにつながる手立て】（視点①） ○単元のゴールを確認することで、意欲の継続を図る。 ○全文を資料のない状態で示し、資料の効果について視覚的に感じることができるようにする。 ○初読の児童の問いからめあてを設定することで、児童が主体となる活動のきっかけを生むようにする。 (課題解決に向けた方向付け・見通しを持つ手立て) ○文章と資料を結びつけて内容を捉えることで、資料の効果に気付くことができるようにする。 ○筆者と読み手の立場からの視点を伝える。
		【めあて】消えた資料を復活させよう → 【学習課題】資料にはどのような効果があるのだろうか		
展開 (ひととよ)	10分	2 課題の解決に向けて活動する。 ①自分が復活させたいと思う資料を3つ選び、その資料を復活させたい理由について考える。	○復活させたい資料を選びましょう。 ◇資料1は、地図と表があって、日本とイギリスの位置や固有種がよく分かるな。 ◇資料2は、時代ごとに地図を見ることができるな。 ◇資料3・4は、日本の地形の暖かい地域・寒い地域、標高が分かるよ。 ◇資料5は、もう絶滅した動物の実際の姿を見ることができるな。 ◇資料6・7は、天然林が減ってきていることと、ニホンカモシカの捕獲数が分かるよ。	○資料を3つ選んで個人（ひとりで）で文章だけでは分からないことを資料から補い、視覚的に理解できるようにする。 ○文章と資料を結び付けて読み取ったものを根拠に選ぶようにする。 ○ロイロノートのアンケートで3つを選ぶようにする。 ○資料の読み取りは、家庭学習と連携し、事前に行っておく。 (言語活動の設定及び設定の意図) ○「復活させたい3つの資料」について、本文と資料を結び付けたものを示しながら、グループで議論することで新たな気付きが生まれるようにする。 ○「復活させたい理由」が、その資料が持つ効果であることに気付くことができるようにする。 【深い学び・確かな学びへと導くゆさぶり発問・活動】（視点②） ○選ばなかった資料について考えることで、なぜ筆者は選び、載せていたのかを考えさせることで、資料には一つ一つに筆者の意図があることに気付くことができるようにする。
	20分	②「復活させたい3つの資料」をグループで話し合う。 ③他のグループの意見を聞き、「復活させたい3つの資料」を考える。 【期待される学びの姿】 復活させたい3つの資料をグループや全体で対話することで、資料の意図や効果に気付き考えている。	○グループで「復活させたい3つの資料」について話し合しましょう。 ◇私は資料2が一番大切だと思うけど友だちの考えを聞くと資料1も重要だと思うな。 ○なぜ、その資料を復活させたいのですか。 ◇もし資料2がないと、いつ大陸から離れたか分かりにくい。 ◇資料6・7は「固有種が住む環境を残したい」という筆者の考えを助けていると思う。 【深い学び・確かな学びへと導くゆさぶり発問・活動】（視点②） 「では、選ばなかった資料は、効果はないのかな？」	
終末 (し)	10分	3 学習のまとめ・振り返りを行う。 【まとめ】資料には、文章と結び付けて筆者の考えをより分かりやすくする効果がある。	○資料はなぜたくさんあったのでしょうか。 【授業の終末につぶやいてほしい児童の言葉の例】 ・あの資料があるから、この言葉がよく分かるんだな。 ・今泉さんが、資料を使って伝えたいことがわかったよ。 ○自分が考えたこと、友達の見解を聞いて深めた考えなどについて、振り返りを書きましょう。	【具体の評価規準】思考・判断・表現 ○文章と資料を結び付けて内容を捉えるとともに、その効果や意図を考えている。 (方法：ノート・発言)

【板書計画】

固有種が教えてくれること
めあて 消えた資料を復活させよう
学習課題資料にはどのような効果があるのだろうか
一人で 復活させたい理由

資料6・7 資料5 資料3・4 資料2 資料1

復活しない 復活

まとめ 資料には、文章と結び付いていて、筆者の考えをより分かりやすくする効果がある。
ふりかえり

友達と

【ICT活用計画】

例：教師による教材提示の計画，ICTを活用した発表，まとめ等による考えの共有の計画等

導入 ・ロイロノートやパワーポイント等で資料のない本文，地図のない/ある資料などを作成し，電子黒板で掲示する。

展開 ・「復活させたい3つの資料」をロイロノートのアンケートや思考ツール（ベン図）を活用することで，視覚的に，どの資料を復活させたいのかを一目で把握できるようにする。

【見方・考え方を働かせて解く適用問題等の計画】

単元の終末では，見方・考え方を働かせて次の学習に取り組む

※資料から分かることを読み取る，相手に伝えたいことが伝わるように工夫して書く，伝えたい意図に応じた資料を選ぶことについての定着状況の確認

【全国学力・学習状況調査】令和3年度 大問2
【熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」】平成30年 大問4
【課題克服プリント（5年生）】平成27年度提供 問題「書くこと」